広陵町男女共同参画行動計画に基づく事業実施について

資料2

広陵町では、内閣府からの補助金「女性活躍推進事業（地域女性活躍推進交付金）」を活用し、女性が社会に参画できるよう、各種取り組みを展開しています（※過去の実績は、後期行動計画期間の令和5年度以降のものを掲載しています。）。

マザーズセミナー＆マネー準備講座（R3～）

就職・再就職を目指す女性を対象に、ハローワークのマザーズコーナー・近畿財務局奈良財務事務所から講師を迎え、就職活動の進め方やポイント、ライフプランや教育資金などを学べるセミナーを開催しています。



後期計画内の位置づけ

主要施策１　あらゆる分野における男女の活躍
主要施策３　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

ワンポイント

- **託児あり**
- **子育て相談窓口がある施設で実施**
  →就職という環境の変化で、仕事と家庭（子育て）の両立に困ったとしても、相談することへの心理的な障壁を減らす効果が見込める
- **近畿財務局奈良財務事務所と共催**
  →就職活動に際し、子どもの教育資金、ライフプラン等について学べることで、目的意識を持った職場探しができる効果が見込める
- **ハローワーク大和高田と共催**
  →実践的な内容を学べる・ハローワークへの心理的ハードルを下げ、就労につながりやすくなる効果が期待できる

【過去の実績】
R5　参加者数：14人
　　満足度：90%
R6　参加者数：7人
　　満足度：72%
R7　参加者数：13人
　　満足度：95%
→引き続き実施予定

パパママ育休セミナー（R5・R6実施）

参加者が男女共同で家事・育児を行えるよう出産前後の知識や夫婦で助け合うための知識について学んでいただき、また、育休制度の紹介を行い、育休取得経験者の話を聞く機会や町内企業（事業主）を対象とした年には、中小企業診断士を講師としてセミナーを実施しました。



後期計画内の位置づけ

主要施策１　あらゆる分野における男女の活躍
主要施策２　人権が尊重される安心安全な暮らしの実現
主要施策３　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【過去の実績】
R5　参加者数：4人　満足度：75%
R6　参加者数：11人　満足度：82%





ワンポイント

- **託児あり**
- **子育て相談窓口がある施設で実施**
  →出産や子育てに悩んだとき、相談することへの心理的な障壁を減らす効果が見込める
  →子育て関係の情報提供も同時に実施した。
- **広陵町で新生児訪問を行う、近隣の助産師に講師を依頼**
  →妊婦や子育て家庭の現状を踏まえたセミナーが期待でき、困った時に相談する助産院の選択肢も提示できた。

家族（男女）共同の家事・育児を考えるワークショップ等実施事業（R4～R7実施）

男女のグループに分かれ、参加者それぞれの家庭内の悩みごとや、家事・育児のやり方、役割分担のノウハウについて話し合うことで、他の家庭での家事・育児のやり方を知ることができ、気持ちのリフレッシュとともに、視野を広げる機会としました。



後期計画内の位置づけ

主要施策１　あらゆる分野における男女の活躍
主要施策２　人権が尊重される安心安全な暮らしの実現
主要施策３　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【過去の実績】参加者数は延べ人数
R5 参加者数：98人、満足度：100%
R6 参加者数：95人、満足度：95%
R7 参加者数：77人、満足度：96%





ワンポイント

- **ワークショップ中に子どもコーナー設置**
- **地元に根ざして長年活動するNPOに委託**
  NPOと事業の企画段階から何度も打合せを行い、協働で実施することで、NPOの知見やノウハウを多分に活かしていただける事業実施を心がけ、相乗効果を狙った。
- **子どもたちと遊ぶイベント後の実施**
  子どもと遊ぶイベントと同時開催にすることでターゲットである乳幼児家族の参加が得られ、ワークショップも和気藹々とした雰囲気で実施できた。

広陵町男女共同参画行動計画に基づく事業実施について

資料2

生命（いのち）の安全教育出前講座（内閣府・文部科学省のカリキュラム）

※人権施策として、今年度から未来戦略・総合調整課に移行

小中学生のうちから発達の段階に応じて暴力や暴力への対処方法、プライベートゾーンのルールなどを知ってもらうことで、生徒や児童が性犯罪や暴力の被害者や加害者にならない価値観を涵養すること等を目的に実施しています（小学校高学年及び中学２年生を対象に実施）。講師は県内各所で出前講座を実施している、参画ネットならに依頼しています。



後期計画内の位置づけ
主要施策２　人権が尊重される安心安全な暮らしの実現
主要施策３　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

内容（一部抜粋）
- プライベートゾーンのルール（勝手にさわる×見る×写真撮る×など）
- 心身の距離感（パーソナルスペース）
- 同意の話（いやな時はいやだと言って良い）
- けんかといじめの違い
- 相手の立場にたって考えよう
- 暴力を受けていい人・ふるっていい人はいない
- 相談できる窓口や先生、大人がいる
- 女だから、男だからより「自分」が大切(LGBTQも)

ワンポイント
・学校との調整
→日程調整だけでなく、児童・生徒向け講座を通年実施する前には、先生向けの講座を実施し、理解を深めてもらっている。
・事後アンケートを実施
→各校での実施後には、「わかりやすかったですか（理解度）」と「これからの生活に役立つと思いますか（有用性）」についてアンケートを実施

【過去の実績】
R5 実施校数：6校
　理解度：90%以上
　有用性：90%以上
R6 実施校数：7校
　理解度：90%以上
　有用性：約90%
R7 実施校数：7校
　理解度：90%以上
　有用性：90%以上

「女性に対する暴力をなくす運動（パープルライトアップ・パープルリボンの配布）

後期計画内の位置づけ
主要施策２　人権が尊重される安心安全な暮らしの実現
主要施策３　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【パープルライトアップ】

パープルリボンの紫色にライトアップすることで、暴力の根絶を広く呼びかけ、被害者へ「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージを届けるため全国で実施。





ワンポイント
・商業施設との協働（連携）
→多くの方が訪れる商業施設をパープルライトアップのスポットとすることで、目に留まる回数、頻度を多くする。ライトアップだけでなく、ポスターの掲示や従業員の方のパープルリボンの着用をお願いしており、目に留まるようにしている。

【パープルリボンの配布】

女性への暴力根絶のシンボルであるパープルリボンの同封リーフレットを刷新し、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心に配布。



DV相談ナビ
＃8008



※その他、過去には、「男女共同川柳募集」、「デジタル人材育成セミナー」など男女共同参画に関する事業を実施